



発行：風の松原に守られる人々の会 事務局：〒016-0805 秋田県能代市大手町3-38 成田憲太郎方 電話0185-52-6316

会設立からの歩み

今号には平成25年4月から25年8月までの活動を記録。見出し番号は創刊号からの通し番号。

192 平成25年度 総会開催

今年度総会は4月19日(金)13:30から能代市中央公民館第5研修室を会場として開かれた。19名出席。

安井昭彦会長の開会あいさつでは、昨年6月2日「みどりの愛護」の集いで、本会が国土交通大臣から感謝状を頂いたことや、9月発行の小冊子『風の松原』が好評だったことなどを紹介した。



来賓の米代西部森林管理署長奥羽屋忠法(おうしゅうやただのり)氏は、平成11年から平成15年まで米代西部森林管理署副所長として勤務したことなどを自己紹介し、現在の風の松原について感想を述べられた。

布施久太郎さんを議長に選出して議事が進められ、会務報告、決算承認、25年度事業計画、予算案とも滞りなく承認された。役員改選の結果は次のとおり。

〈会長〉安井昭彦、〈副会長〉進藤日出男、櫻田隆雄、〈事務局〉成田憲太郎、小林勝平、佐藤修正、〈会計〉鈴木あつ子、〈幹事〉大高一成、秋林弘道、小山佳代子、佐藤恒雄、佐藤浩嗣、塚本祐吉、塚本健一、工藤直樹、〈監査〉浅野ミヤ、伊藤昭子。



193 総会に出席出来なかった人たちの「声」

総会への出欠ハガキに通信欄を設けたところ次のような意見や感想が寄せられた。総会に出席出来なかった方々の「声」を紹介する。

①美しい松原ありがとうございます。能代の誇りです。②頑張ってください。また能代に行きお手伝

いたしたいと思います。③活動に参加出来ず申し訳ございません。これからも出来ることは協力したく思っております。④都合により活動することが出来なくなりました。又都合がついた時は参加したいと思えます。お世話になりました。⑤日頃のご活動に感謝致します。お願いがあります。シャガが群生しているところにキクザキイチゲが増えてきて綺麗です。盗掘されることのないように名札とともに注意書きを付けていただけないでしょうか。⑥いつも活動に参加することが出来ませんが、役員の方々には又一年間風の松原の活動本当にご苦労さまです。⑦所用がありますので欠席します。今年も活動のハガキ案内をよろしく願います。⑧また春が来ました。今年もご苦労さまです。高齢になり何も協力できませんので、心ばかりですが払込しました。よろしく……。⑨皆様の益々の御活躍に敬意を表しております。活動に参加出来ない心苦しさばかりですが、一会員として心から声援を送らせていただいております。⑩市内乗りバスのはまなす号で通る度に、素晴らしい松原と思います。市の財産を守られておいでの皆様に感謝いたしています。⑪何のお役にも立てず申し訳ございません。せめて寄付金2,000円振込しました。⑫「風の松原」パンフレットは年々充実・拡大し、感心して拝見しました。(経費がかかりますネ)今回もいろいろの資料ありがとうございます。⑬25年度の会報お受け致しました。有難うございました。風の松原の大事さは知りつつも、何も出来ず心苦しく存じます。毎年会費だけの参加となっておりますが、これは続けたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。⑭お手伝い出来なく申し訳なく存じます。無事故で新年度事業をお願いします。⑮御活動御苦労でございます。当方は老齢(85歳)の身で歩行も不自由ですので、会費のみの協力しかできません。従ってパンフなどの御送付はご辞退致します。あしからずご了承いたしますようお願い申し上げます。⑯申し訳ありませんが、作業が出来なくなりましたので、会費のみの会員にさせていただきます。

194 風の松原を守る市民ボランティア大会

この大会が4月に実施されるようになって今年で3年目、4月21日に実施された。今年の参加者は北羽新

報の報道では750名。本会では平成15年の第1回から個人参加としており会員の参加数を集約していないが、作業リーダーとして参加した会員は写真の5名。



195 「林床改良作業」

5月16日(木)9:30~11:30まで今年度第1回の「県保安林の林床改良作業」が行われた。会員23名、林床改良に関する協定を結んでいる県、市の職員を含め約30人がロケットセンターに向かう道路の海側の



松林で松葉掻き作業を実施。

松葉や枯れ枝を放置すると腐葉土となって雑草が生え、広葉樹化する原因となるため、定期的

に松葉掻きをする必要がある。この事業を始めて3年目に入り、昨年11月8日以来半年ぶりの松葉掻きと



あって、集められた松葉の量は膨大。用意したゴミ袋では間に合わず、真ん中の写真のように作業終了時には相当量が山積みされたままだった。松葉掻きを終えた場所は3枚目の写真のようにきれいになった。このような林床改良作業を続けて何年か後にはキンダケの宝庫が回復することを願っている。

6月6日(火)には2回目の作業を実施、20名参加。3回目は9月5日(木)、4回目は10月29日(火)を予定。

196 「ニセアカシア萌芽除去作業」

ニセアカシア萌芽除去作業は、今年度は2回実施を計画。1回目は5月28日(火)陸上競技場脇に集合し、そこから日和山あづまやまでの区間で実施した。19名参加。

5月なので新芽は目立たなかったが、出たばかりの新芽の根を掘



り起こすと、地下5cmから10cmの浅い位置に写真のように水平根で隣の幹とつながっていた。ニセアカシアは伐採されると切り株からの萌芽だけでなく水平根から大量の根萌芽を発生させることが知られている。6月18日に予定されていた2回目のニセアカシア萌芽除去作業は雨のために延期され、7月2日(火)に実施、大森稲荷神社後ろから防火線2号のあづまやまでの区間で行われた。参加者18名。

197 「樹木名札取り付け作業」

7月26日(金)9:00から役員だけで樹種名札取り付け作業を行った。今回は米代西部森林管理署からいただ



いた板を用い、樹木の幹に結びつける形で行われた。古くて樹種名の判読が困難なもの交換を中心に実施。新しく取り付けたのは写真の6種類。古くなって読み取りが難しくなった名札は持ち帰って薪ストーブの燃料となった。



198 「森林・・交付金事業」への参加取りやめ

4月総会で安井会長が紹介した「森林・山村多目的機能発揮対策交付金」については、事業内容・条件等が判明したが、7月9日に臨時役員会を開いて協議の結果、「会員の高齢化の中で3年間継続は難しい」「新たに0.5ヘクタールは本会の力量の範囲を超えている事業」として応募しないことになった。

199 研修会への参加

8月20日(火)に秋田県森林技術センターで開催された「森林環境教育指導者養成講座~子どものための森林環境教育を学ぶ~」には、櫻田隆雄、佐藤修正、小山佳代子、横山亮子の4氏が参加した。

9月4日(水)から3回に亘って開かれる「松くい虫専門調査員研修会」には進藤日出男、工藤直樹の両氏が参加する。なお、この資格は既に大高一成、櫻田隆雄、佐藤修正の3氏が取得している。